

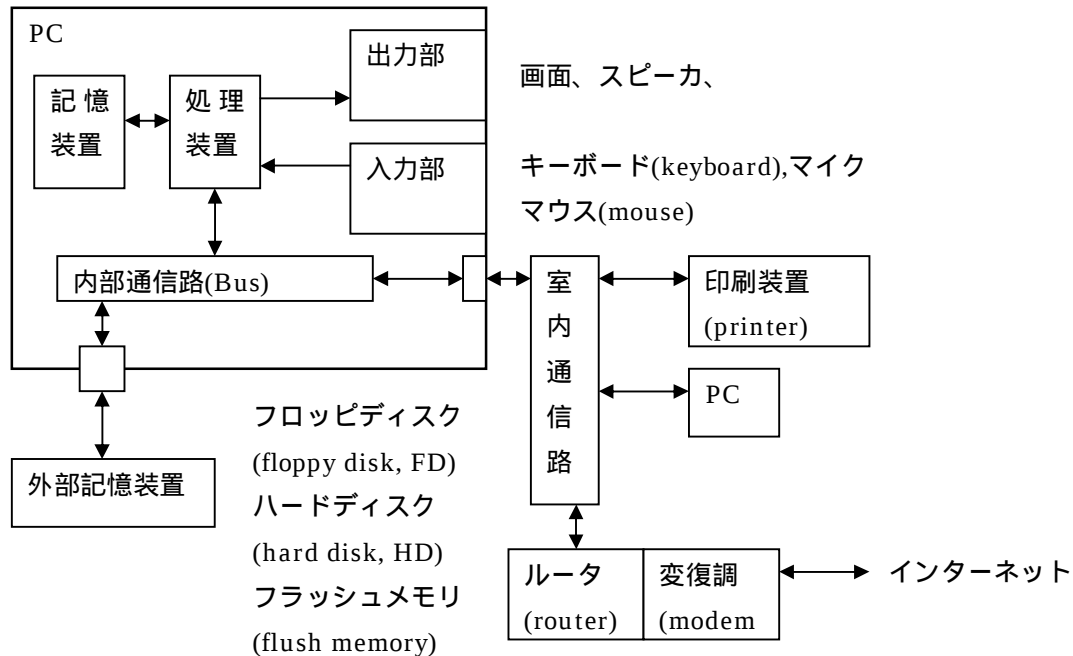
PC とインターネットの要点

2009/5/6 市吉 修

1. PC の要点

PC とは Personal Computer の略。個人用の情報端末である。

PC の構造



PC の使用法

- (1) PC の画面に表示される内容を見ながらキーボードで文字を入力し、マウスで画面の指定された場所(ボタンと言う)をクリック(click,カチッという音)して PC に動作を指示する。
- (2) PC の操作は人と PC の対話である。自動車の運転に例えると人が前方、後方、速度計等各種の表示、警報を見ながらハンドル、ブレーキ、方向指示器等を操作して運転するのと同様である。
- (3) PC は内部には記憶部と処理部を備えている。PC は指定された記憶部から読み出したデータに指示された処理を行い、その結果を再記憶したり、外部に印刷したりする。
- (4) 現在の PC は通信機能を備えており室内通信路(Local Area Network, LAN)とルータモデムを通じて外部のインターネットと通信を行う。
- (5) ルータの制御の下で LAN を通じて複数の PC をつなぎ、インターネットや印刷機(printer)を共用する事ができる。

2. PC のデータ処理方法

- (1) PC の基礎となるシステムはオペレーティングシステム(Operating System, OS)と呼ばれる。OS としては Windows 95,98, 2000, Windows XP, Linux, MacCintosh などがある。
- (2) OS の上に応用ソフトウェア(Application software)を載せて、各種の処理を行う。通常ソフトウェアを略してソフトと呼ぶ。応用ソフトとしては Microsoft 社の文書作成用ワード(Word),表作成用のエクセル(Excell), 発表用のパワーポイント(Power Point, PP)がよく使われる。その他画像処理用の GIF, JPEG、ゲームソフト等目的に応じて多数の応用プログラムがある。ソフトを PC 内

に取り込んで使えるように設定する事をソフトのインストール(install)と言う。

- (3) PC は利用者が必要なソフトを画面とキーボード、マウスで呼び出し (call) で使用する。
- (4) 応用ソフトは記憶装置から指定されたデータ(文書)を読み出して画面に表示し、利用者の指示に従って処理、結果の印刷、外部への送信等を行い、作業終了時に文書を再記憶する。
- (5) データ(文書)は利用者がつけた名のファイル(File)として作成、処理、再記憶もしくは削除する。
- (6) 再記憶する事をファイルの保存(Store)と言う。元の名で保存することを「上書き保存」、別の名をつけて保存する事を「名前を付けて保存」という。その場合は新たな名のファイルが元のファイルとは別に作られる。作業終了時に必要なファイルは保存し、不必要ならば削除する。
- (7) ファイルを保存する場所をフォルダ(folder)と言う。綴じ込みの意味。元から用意されているフォルダはマイドキュメント(My document)があるが、必要に応じて新たなフォルダの作成、名前の変更、削除が可能である。フォルダの中に別のフォルダを作る事もでき、文書の整理に便利である。

3. インターネット

- (1) インターネットは Internet であり世界中の通信網をつなぐ通信網の通信網である。電話網の末端は電話機を通じて、インターネットの末端は PC を通じて人が用いる。
- (2) インターネットの通信方式は IP(Internet Protocol)と呼ばれるパケット通信方式である。
- (3) インターネットには一億近いホームページ(Home Page, HP)があり、各種の情報が蓄積されている。利用者はインターネットを通じて HP からデータを取り込んで利用する。
- (4) HP の在り処を示す方法は World Wide Web であり略してウェブという。各ホームページのインターネット上のあて先をアドレス(address)とか URL (Universal Resource Locator)とか呼ぶ。
- (5) HP のアドレスを示すシステムは DNS (Domain Name System)と呼ばれる。人間の住所を示すのと似た方法であるがインターネット上のサーバ(Server)と呼ばれる装置の間で管理される。
- (6) HP のアドレスは Yahoo や Google の HP に接続(アクセス、access)して適当な鍵となる語を入力して検索するのが便利である。示されたリスト(リンク、hyperlink)の中に目的の HP があるとマウスでクリックして簡単に目的の HP に接続することができる。
- (7) HP はウェブサーバ(Web server)と呼ばれる装置の中に存在している。利用者は依頼人、すなわちクライアント(client)である。この Server-Client 関係はインターネットの基本構造である。

4. 電子メール

- (1) 電子メールは e-mail とも言い、メールサーバとメールクライアント間の通信である。
- (3) 送信者は相手の専用メールサーバに通信情報を入力する。相手の利用者は自分のメールサーバに接続して自分あてのメールを取り出す。原理は携帯電話のメールボックスや留守番電話と同様。
- (4) あて先のメールサーバは指定されたアドレスが有効でない場合などには不達通知を発信者のメールサーバに送る。すなわち発信者は通信が不達の場合には通知を受け取ることができる。
- (5) e メールの特長は同時に多数のあて先に発信できる事、文書や写真などのファイルを添付して送付できる事、数秒で世界中のあて先のメールサーバに届く速さなどである。
- (6) 多数のあて先に一度に送信できるので一種の会議型の通信ができる。これを Mail List, ML と言い、仕事の関係者への連絡、同窓会など種々の会の内部での連絡、情報交換に広く用いられている。誰でも登録すれば入れる公的な首相官邸メール等もある。官邸メールは定期的に配信されるのでメールマガジン、略してメルマガという。 -E-